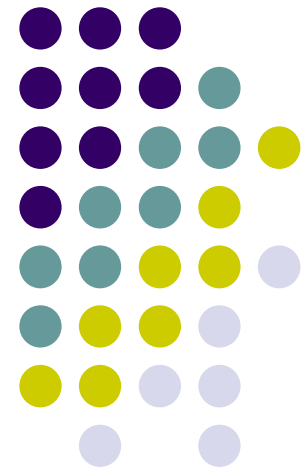


2022年3月期決算説明資料

大村紙業株式会社

東京証券取引所

3953(スタンダード市場)





目次

● 会社概要	・・・3
● 事業の状況	・・・4
● 業績概要	・・・5
● 品種別売上高及び生産実績	・・・8
● 今後の見通し	・・・9
● 売上高および経常利益の見通し	・・・10
● 免責事項	・・・11



会社概要

- 社 名：大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地：神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者：牧山光人
- 設 立：1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金：554,000千円
- 発行済株式総数：4,884千株
- 事 業 内 容：段ボール(シート・ケース・他)の製造販売
ラベル製品の製造販売
副資材商品の販売
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事 業 部：湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・
京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉
- 営 業 所：会津・レーベル湘南
- 研 究 所：包装設計デザイン研究所

事業の状況



- 当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大が長期化する中で、ワクチン接種の普及など感染症対策の広がりによって徐々に経済活動の再開も見られたものの、原材料価格の高騰やウクライナ情勢の緊迫化による資源価格の上昇などにより、依然として厳しい状況が続いております。
- この様な経済環境の中、当業界におきましては、全国段ボール生産量は前期比102.8%となりました。
- 一方、当社は新型コロナウイルス感染拡大の影響があったものの、既存取引先への対応強化及び新規取引先の開拓などにより業績予想より若干減少しましたが概ね予想通りで推移しました。営業利益、経常利益、当期純利益は、原材料価格の高騰や資源価格の上昇による影響があったことと2022年3月15日付で「自己株式の公開買付けの結果及び取得終了並びに主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」で公表している自己株式の公開買付けにかかる費用が発生したことにより下記の様になりました。
- その結果、段ボールシート49百万㎡(前期比1.8%増)、段ボールケース33百万㎡(前期比6.2%増)となりました。売上高は4,980百万円(前期比3.7%増)となりました。利益面におきましては、経常利益235百万円(前期比14.7%減)となり、当期純利益130百万円(前期比20.5%減)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は東京証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。



業績概要①

売上高の品種別の内訳は次のとおりであります。

段ボールシート 売上高 855百万円(前期比3.8%減)

段ボールケース 売上高 3,185百万円(前期比6.4%増)

ラベル 売上高 174百万円(前期比2.8%増)

その他(主に包装資材) 売上高 764百万円(前期比2.2%増)

(単位:百万円)

	当期 (2022年3月期)	前期 (2021年3月期)	前期比率
売上高	4,980	4,801	3.7
営業利益	254	270	△ 5.7
経常利益	235	275	△ 14.7
当期純利益	130	163	△ 20.5
1株当たり当期純利益(円)	27.07	34.04	



業績概要②

総資産につきましては、前事業年度末に比べて、245百万円増加しまして、7,753百万円となりました。主な要因は、原材料及び貯蔵品が164百万円、現金及び預金が82百万円増加し、また、売上債権が87百万円減少したことによるものであります。

(単位:千円)

資産の部	当期末 (2022年3月末)	前期末 (2021年3月末)
流動資産	5,095,865	4,938,331
現金及び預金	3,458,764	3,375,809
受取手形	394,180	477,857
売掛金	714,192	717,857
棚卸資産	518,573	353,659
その他流動資産	10,154	13,147
固定資産	2,657,250	2,568,786
有形固定資産	2,371,607	2,285,891
無形固定資産	10,668	11,258
投資その他の資産	274,974	271,636
資産合計	7,753,115	7,507,117

(単位:千円)

負債・純資産の部	当期末 (2022年3月末)	前期末 (2021年3月末)
流動負債	1,484,180	1,419,733
支払手形	971,514	944,709
買掛金	186,475	204,365
未払法人税等	63,449	35,140
その他の流動負債	262,741	235,517
固定負債	721,014	614,295
退職給付引当金	154,018	133,463
役員退職慰労引当金	444,025	434,083
その他	122,969	46,749
負債合計	2,205,194	2,034,028
純資産合計	5,547,921	5,473,088
負債・純資産合計	7,753,115	7,507,117



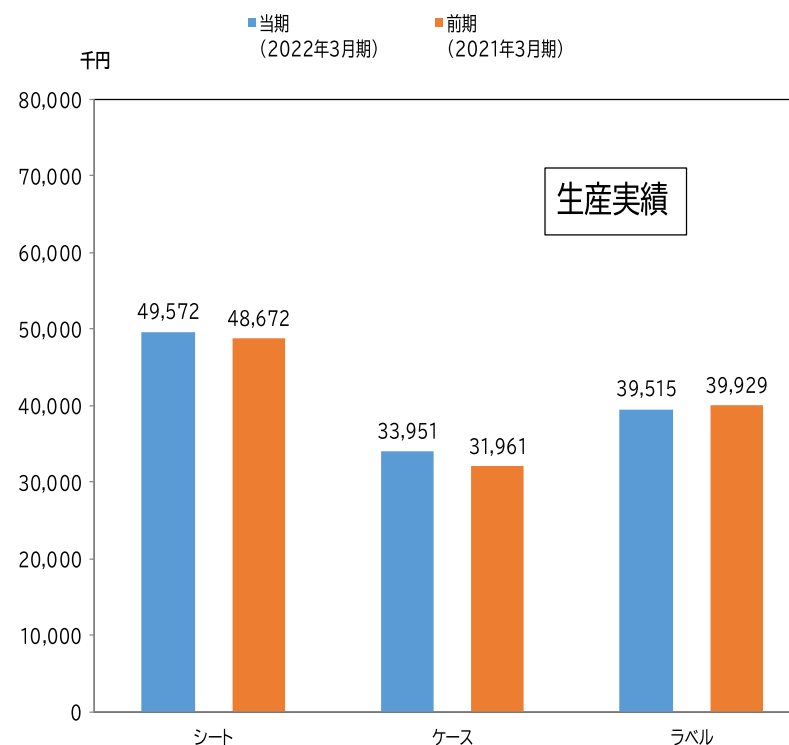
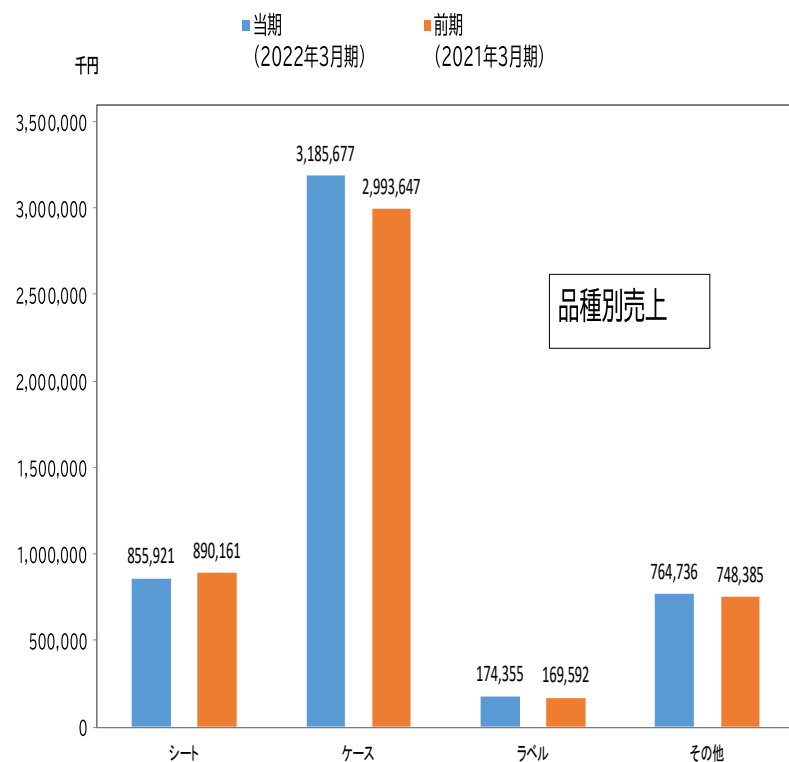
業績概要③

(単位:千円)

	当期 (2022年3月期)	前期 (2021年3月期)
営業活動による キャッシュ・フロー	328,339	148,479
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 177,844	△ 344,697
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 67,544	△ 85,236
増減額(減少:△)	82,950	△ 281,454
現金及び現金同等物の 期首残高	3,143,566	3,425,020
現金及び現金同等物の 期末残高	3,226,516	3,143,566



品種別売上高及び生産実績





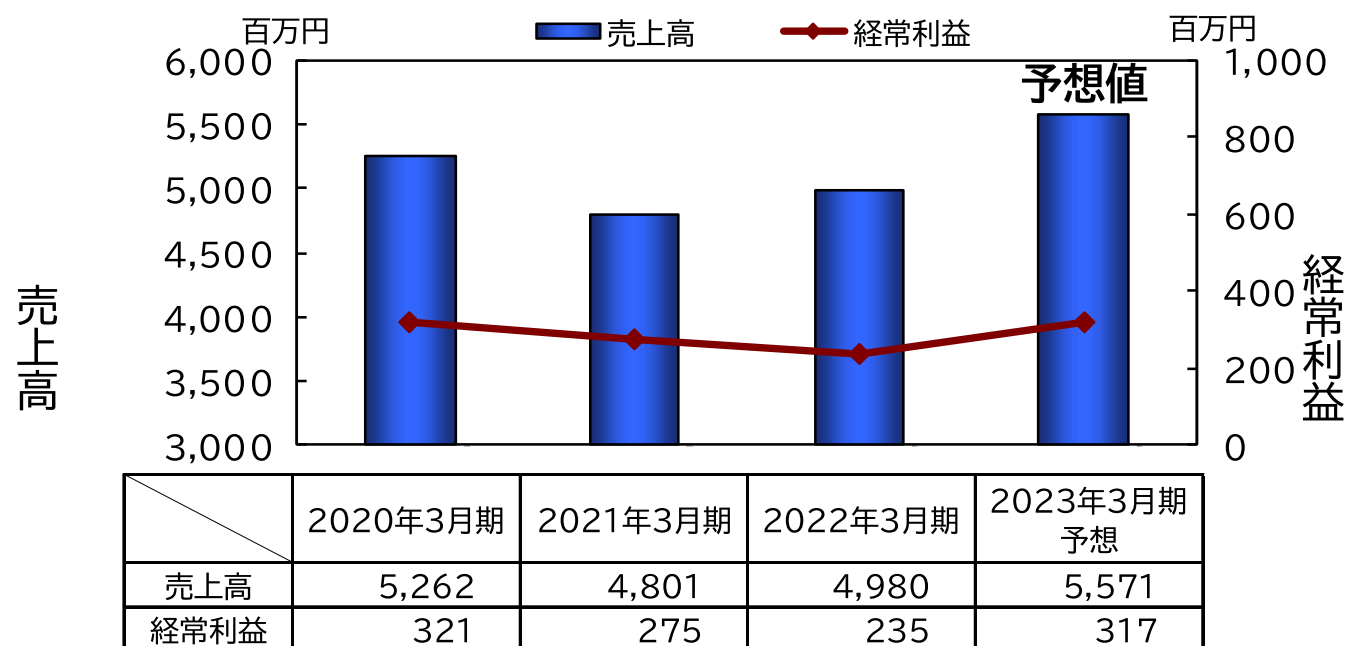
今後の見通し

- 次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動の制限と緩和が繰り返される中で、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。しかし、変異株をはじめ感染症が猛威を振るう中、半導体の供給不足及び原材料価格の動向次第で内外経済の影響も懸念され、更にウクライナ情勢による物価上昇や資源・エネルギー価格の高騰など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。
- この様な状況のもと、当社は小ロット・多品種の「生産性向上工夫」をスローガンとして掲げお客様の段ボールニーズに対し、早さと的確さでいち早く答えてまいりたいと考えています。
- 当社の2023年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,571百万円(前期比11.9%増)、営業利益324百万円(同27.4%増)、経常利益317百万円(同34.6%増)及び当期純利益196百万円(同51.0%増)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。これは将来の利益に貢献し、かつ株主各位への安定的な利益還元に寄与できるものと考えております。



売上高および経常利益の見通し

※当社の2023年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,571百万円(前期比11.9%増)、営業利益324百万円(同27.4%増)、経常利益317百万円(同34.6%増)及び当期純利益196百万円(同51.0%増)を計画しております。





免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。